

令和7年度大田区総合防災訓練の実施について

1 実施目的

- (1) 首都直下地震（都心南部直下地震）や大規模な風水害の発生を想定し、発災時に取るべき正しい行動や在宅避難の重要性について、広く区民に対して啓発し、地域の防災力の底上げを図るとともに、地域・区・関係機関等の連携強化を図る。
- (2) 地域訓練では対策や検証が難しい課題に対して、区と地域が連携して実践的な訓練を実施することで、現行の危機管理体制を検証するとともに、検証結果を大田区地域防災計画へ反映する。

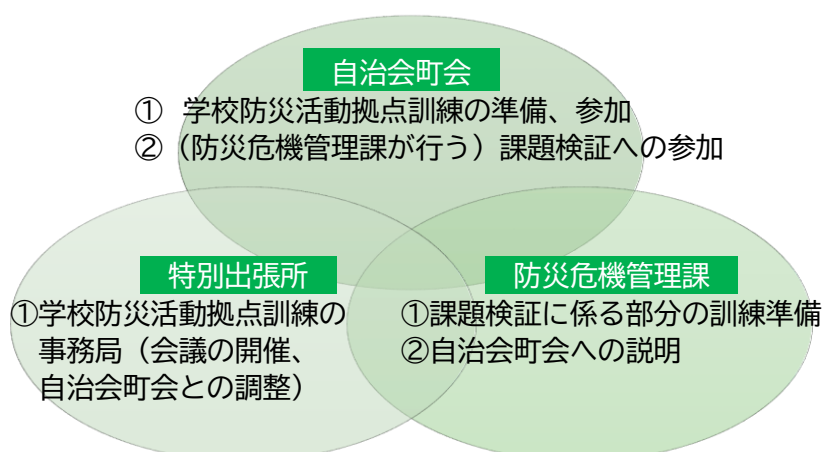
2 検証すべき課題

検証すべき課題については国や東京都の動向、緊急性、地域要望等を踏まえて判断する。

< 課題（例示） >

➤ 要配慮者への対応 ➤ デジタル技術を活用した避難所運営 ➤ 災害時のトイレ ➤ 災害時の物資輸送 ➤ 生活系廃棄物処理	➤ 避難所での外国人対応 ➤ 地域活動訓練（在宅避難者支援等） ➤ 避難所設営・体験 ➤ 医療救護所 ➤ 情報伝達
---	---

3 訓練実施に向けた各主体の役割



※検証する課題により
関係機関や協定団体等
と連携

4 その他

訓練実施地区以外にも課題や成果を共有するため、訓練の様子を動画撮影し、区ホームページ等で公開予定。